



しょうせつ

小雪（22日）… かえではどんな色になるでしょう …

園庭のかえでは、桜とともに青南幼稚園のシンボルツリーとして園庭の中央で存在感を示しています。平成30年1月の大雪で南側の太い枝が折れましたが、その後も元気に晩秋から初冬にかけてきれいに色付きます。今年ではどんな色付きを見せてくれるのでしょうか。

<朔風払葉 きたかぜこのをはらう 11月27日~12月1日>

小雪の次候は「朔風払葉」です。園庭の桜や裏庭の柿などの葉が色付き、落ち葉となって園庭を埋め尽くし始めます。まさにこの言葉がピッタリの季節になってきました。

<落ち葉のプール>

三連休明けは、園庭に落ち葉がいっぱいでした。道路の落ち葉は主事さんをお願いしていますが、朝の園庭整備は担任の仕事です。それは、教材としての園庭をどう整えるかによって、その日の遊びの様子が変わるからです。子どもたちにどんな経験をさせたいかによって、遊具の量や物の置き方、砂の水加減などを調整しているのです。作業しながら、全学年の予定を確認し合っ、園庭を使う時間帯の調整をし、安全点検も同時に行っています。

<落ち葉は教材! ?>

この季節は、落ち葉が大事な教材となります。この日は、特にたくさんあることに意味がありました。自然からのすてきな贈り物と子どもたちをどのように出合わせるかを考えた結果が、落ち葉のプールです。パネルのついたてで囲って、子どもたちを迎えました。この日、一番に園庭に出てきた年少児たちは、迷うことなく落ち葉のところにやって来ました。誰が教えなくてもすぐに手に取ってその感触を味わったり、投げ上げてハラハラと舞う様子を見たりする動きをひとしきり楽しむことができました。

<身近な自然物を様々な活用する保育>

おもちゃの荷台に乗せて荷物に見立てて走らせたり、お面ベルトにテープで貼って動物の耳にしたり、紙に貼って落ち葉で絵を描いたりするなど、落ち葉は大事な教材になっています。砂場では水加減を調整して、きれいに型抜きをしてナイフで切っても崩れないケーキ作りに挑戦している年長児がありますが、そのケーキのトッピングにも落ち葉や草花の種、ドングリなどが使われています。

それに加えて、裏庭の柿は葉っぱが色付き始めると同時に柿の実も色付いて、いよいよ食べ頃を迎えつつあります。



落ち葉がいっぱいだ、わーい!



落ち葉の雨だよ。ひゃあ〜冷たい!



落ち葉を荷台に乗せて運びます



年長児はもう一度集め直しています



毎日様子を見ている年長児からは柿はまだですかの声が絶えず…



試しに採って来た柿を誕生会の玉手箱で紹介しました



今年もおいしいそうな柿がなっています